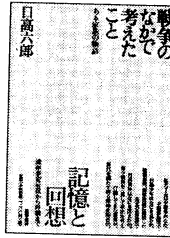
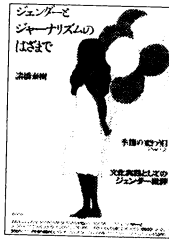


ありがとうございます
——お送りいただいた書籍——

次のような出版物を、会員の方から「寄贈」いただきました。すべて会員の方のご著書か、会員の方が編集・出版に関わった書籍です。



ありがとうございます
（定価はいずれも税を含んでいません。）



○日高六郎著『戦争のなかで考えたこと——ある家族の物語』筑摩書房 二二〇〇円。



○諸橋泰樹著『ジェンダーとジャーナリズムのはざま』批評社 一八〇〇円



○中井多賀宏著 詩集『beの世界』文芸社 一一〇〇円

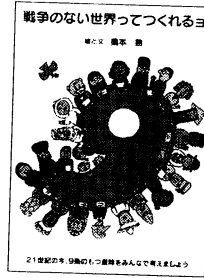
鬼（トンヤンキー）——兵士の戦争についての反省』日本文学館 一〇〇〇円（著者は意



見広告の反戦歌壇「赤紙が携帯にくる新世紀」の作者でもある元中学校社会科



教員です。本書ご希望の方は586-0094 河内長野市小山田町 121-53 北坂さんまで）



○目取真俊著『沖繩「戦後」ゼロ年』NHK出版 六四〇円

○橋本勝著『戦争のない世界』つくれるヨ BOC出版部 七〇〇円（今年一月のブラジル・ポルトアレグレでの世界社会フォーラムで「読み聞かせ」初公開された手作り絵本の出版。絵と文「橋本勝」）

前号の本欄でふれた2冊の本のご紹介

○『街から反戦の声が消えるとき——立川反戦ピラ入れ弾圧事件』宗像充著（樹心社 一三〇〇円）05年1月

○『立川反戦ピラ入れ事件——『安心』社会がもたらす言論の不自由』立川・反戦ピラ入れ弾圧救援会編著（明石書店 一八〇〇円）05年5月

●『街から反戦の声が消えるとき』の著者、宗像充さんは若いフリーのライターで、テン

ト村の3人とも交流があり、彼らの逮捕直後から救援に携った人です。警察による弾圧など経験したことのない若い人の感性で、今回の救援の過程を極めて細かに記述しています。75日間も逮捕、拘留されていたメンバーの獄中の話も、現在の社会状況を反映するものであり、大変興味深いものがあります。出版は昨年12月の無罪判決を勝ち取った直後で、救援活動の中にいた人ならではの著作です。

●『立川反戦ピラ入れ事件』は反戦ピラ入れ弾圧救援会が編集したものです。先の宗像さんの本が無罪判決直後に出版されたものと比較して、その後様々な資料を収集し、弁護士や法学者の方に著述をお願いし、まとまった本にできあがりしました。

33年前のテント村の成り立ちや自衛隊の立川基地移駐問題をテント村のメンバーが書き、逮捕されたメンバーの獄中記や裁判闘争、弁護士による裁判の経過と評価が書かれ、事件の経過と裁判の進行がよく分かります。

また、救援に関わった各団体のメンバーによる座談会、横須賀で自衛官に海外派兵に行かないでほしい」と呼びかけを続けている新倉さんと、テント村の大洞さんの対談も大変興味深い。中嶋さん（共同通信）が記者として報道の経緯を詳細に記述し、「その意味で、マスメディアも、今回の政治弾圧の共犯者」という冷静な分析を寄せてくれ、「裁判の意味」「判決の意義①憲法」「判決の意義②刑法」を

（35ページ下段に続く）

ございましたありがとうございます。さっ
そくよませていただきました。

鶴見氏の文、読んで氏に対する考え方が変
わりました。今まで何か頼りない方だと思っ
ていましたが、いい方なんです。ペ平連の
運動について一度も関わったことないので
が、尊敬の念を持ちました。

澤地さん、小田実さんの講演は札幌で聴い
たことがあり尊敬しています。

「イラク・ブーメラン意見広告プロジェク
ト」報告も感動して読みました。日本憲法第
九条全文をアラビア語で掲載してくださった
由、大変な努力をしてくださったのですね。
すごく嬉しく思いました。赤字もかなり出た
とのこと。私自身も、十七年も朝三時に起き

て北海道新聞朝刊配達をやっていた時は、少
しお遣いが得られて良かったのですが、三
年前に昼間、乗っていた自転車の後をトラッ
クに押されて転倒し、左鎖骨複雑骨折、二週
間入院した後は止めてしまつて収入ゼロにな
り、わずかばかりの年金だけが自由になる身
で決して余裕はありませんが……。せめて会
員になって……と思えますので三〇〇〇円同
封いたします。私はもうすぐ七〇歳になりま
すので、二〇〇〇円でいいようなので、ほん
の少しで申し訳ありませんが、一〇〇〇円は
カンパとしてください。

私は、縁あって第九条の会オーバー北海道
の会員になって四、五年になります。アメリ
カが湾岸戦争を始めた時、九条の会を作った

オハイオ州の工学博士オーバー博士にな
らつて、名古屋に日本九条の会が最初に出来
た後、今は日本各地に九条の会があるのです。
オーバー北海道も全道に会員が居り、五月と
十月に大きな（私たちとしては）集会があり、
札幌は月二回例会と学集会を小さいながらや
つてます。若い学生から私のような老人まで
幅広い人達の集まりで、言いたいことを出し
合つて人の意見に耳を傾ける大変勉強になる
集まりで、夜出かけるのがだんだん大変にな
つてますが楽しみにしています。

そんな中で、憲法はむろん、教育基本法、
教科書、在日の人たちのこと、学ばなければ
ならぬことばかり。それで意見広告の件につ
いても知らされ、送金した次第です。で、思
いがけず通信を送つていただき、またまた勉
強させていただき感謝です。

今私が驚きながら読んでいる本を紹介させ
ていただきます。安川寿之輔著『福沢諭吉と
丸山眞男』Ⅱ「丸山諭吉」神話を解体する』
（高文研）です。

「天は人の上に人をつくらず人の下に人をつ
くらず」という言葉だけで『学問のすすめ』
を読んだつもりで過ごしてましたが、これが
大きな間違いだったようで、今、文庫本があ
るそうなので、自分で『学問のすすめ』を読
んでみようかと注文しています。

右の本は実に分厚く大変な論文なんです、
すごく興味深くなぜ教養のある指揮者、東大
はじめ各大学学生が、やすやすと学徒出陣さ

せられたのか、日本の教育体制の恐ろしさが
やつと理解出来かけています。今半分位まで
読みすすめたところです。若し許されるなら、
どうかこの本を皆さんが目を通して下された
らいいなあと思います。

今、一万円札に印刷されている諭吉さんに
は早く引退願いたいと思います。アジアの人
たちに申し訳ないようですもの。怒っている
人々も多いそうですから……。

いったい、学校で私たちは何を習つて来た
のでしょうかね。本当に！

いつだったか読んだことを思い出していま
す。公教育は、国にとって都合悪いことは教
えないのだ、と。

これは世界中どこでもそうなのだというこ
とです。悲しいことですね。

長々と乱筆乱文書きましたが、お忙しいの
に申し訳ありません。よろしくお願いいたし
ます。

（33ページより続く）

学者の方が執筆しています。

最後に本書の1/3くらいの分量の大変
充実した資料が収集されています。この事件
の理解に欠かせない配布された「ピラ」、自衛
隊官舎などの地図や周辺図、マスメディアの
報道記事一覧、団体個人の声明文一覧、弾圧
事件の経過がわかる日録、判決文全文、被告
3人の最終意見陳述が掲載されています。

（立川・反戦ピラ弾圧救援会 代表 大沢豊）